

本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

本書をお読みになる前に

第1章 特長

本製品の特長について説明しています。

1

特長

第2章 動作環境の設定

本パソコンでの動作環境の設定について説明しています。

2

動作環境の設定

第3章 ソフトウェア

本パソコンに搭載されているソフトウェアについて説明しています。

3

ソフトウェア

第4章 トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

4

トラブル
シューティング

目次

本書をお読みになる前に	5
本書の表記	5
商標および著作権について	7
第1章 特長	
1 本製品の特長	10
運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント	10
CF カードへの書き込み保護について	11
2 OS について	12
Windows XP Embedded with Service Pack 2 について	12
管理者権限とユーザー アカウント	12
Windows のパスワード	13
BIOS のパスワード	13
Internet Explorer	13
言語オプションの選択	13
第2章 動作環境の設定	
1 保護管理ツールについて	16
初期設定などを変更する	17
2 ディスプレイ関連	19
解像度と色数について	19
液晶ディスプレイの明るさ設定 (TC8200 の場合)	20
全画面表示と通常表示の切り替え (TC8200 の場合)	20
3 音量の設定	22
画面上の音量つまみで設定する	22
キーボードで調節する (TC8200 の場合)	22
4 通信	23
LAN について	23
5 省電力	25
スタンバイ	25
省電力の設定	27
スタンバイ状態にする	29
スタンバイ状態からのレジューム	31
第3章 ソフトウェア	
1 ソフトウェア一覧	34
搭載ソフト一覧	34
各ソフトウェアの紹介	34

第4章 ブラウジング

1 ブラウジング	38
テレビ／ラジオなどの受信障害防止について	38
2 ブラウジングの基本操作	39
本パソコンや周辺機器の電源を確認する	39
Safe モード	39
メッセージなどが表示されたらメモしておく	39
診断プログラムを使用する	40
3 起動・終了時のトラブル	41
4 OS・アプリケーション関連のトラブル	44
5 ハードウェア関連のトラブル	45
インターフェースの制限について	45
ハードウェア関連のトラブル一覧	45
BIOS	46
内蔵 LAN	46
バッテリ (TC8200 の場合)	47
ディスプレイ	48
サウンド	49
キーボード	50
マウス／ポインティングデバイス	50
USB	51
プリンタ	51
その他	51
6 それでも解決できないときは	52
お問い合わせ先	52
索引	53

Memo

本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例： 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「Internet Explorer」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の順にクリックします。

■ BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニュー やサブメニュー または項目を、「-」(ハイフン) でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「:」(コロン) の後に記述する場合があります。

例： 「Advanced」メニューの「Virus Warning」の項目を「Disabled」に設定します。

↓

「Advanced」 - 「Virus Warning」: Disabled

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ カスタムメイドオプションについて

本文中の説明は、すべて標準仕様に基づいて記載されています。

そのため、カスタムメイドで選択のオプションを取り付けている場合、メモリ容量などの記載が異なります。ご了承ください。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
FMV-TC5100	TC5100	
FMV-TC8200	TC8200	本パソコン／パソコン本体
Microsoft [®] Windows [®] XP Embedded	Windows XP Embedded	Windows

■ お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2005 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください (→ 『取扱説明書』)。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。Citrix、MetaFrame は、Citrix System, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

Memo

第 1 章

特長

本製品の特長について説明しています。

1 本製品の特長	10
2 OS について	12

1 本製品の特長

運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント

本製品は、パソコン本体にハードディスクを持たないシンクライアントです。サーバー上にインストールされたアプリケーションを実行し、サーバー上にデータを保管するため、従来のパソコン（ファットクライアント）に比べて次のような特徴があります。

■ ユーザー管理やソフトウェア管理がしやすい

- サーバーへのログオンが必須となるため、サーバー側でユーザーを一元管理できます。
- ソフトウェアもすべてサーバーにインストールされるため、ユーザー間でソフトウェアのバージョンが違うなどのトラブルを防げます。また、ソフトウェアの変更やバージョンアップにかかるコストを大幅に削減できます。
- 管理外のソフトの無断インストールを防げます。また、ウィルスなどの対策もサーバー側で一元管理できます。

■ 故障などによるデータ消失のリスクを最小化

- 各クライアントがHDDを持たないため、クライアントの故障によるデータの損失がありません。

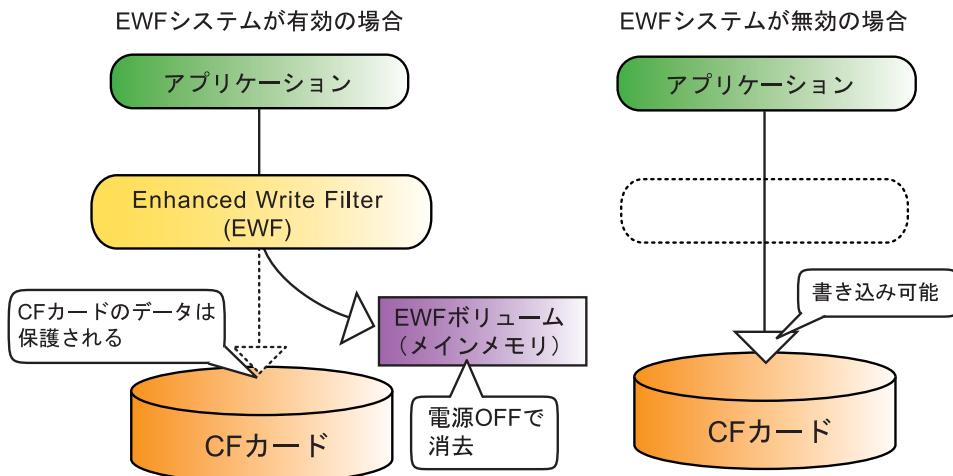
■ 情報漏洩に強い

- 各パソコンで作成した情報などはすべてサーバー側に保存されるため、万一本製品が盗難に遭った場合でも情報漏えいのリスクがありません。
- フロッピーディスクドライブや光ディスクドライブなどを搭載しておらず、USBメモリやコンパクトフラッシュなども使用できないため、外部記憶媒体による情報の持ち出しを防ぐことができます。
- セキュリティ設定もサーバー側で行うため、セキュリティポリシーの管理・変更などが容易になります。また、個々のクライアント上での設定ミスが防げます。

CFカードへの書き込み保護について

本パソコンのOSや環境設定などのシステムデータはCFカードに保存されており、Enhanced Write Filter（以降、EWFと略します）システムによって保護されています。

EWFは本パソコン特有のシステムで、CFカードへの書き込みが発生した場合に、それをCFカードに書き込む代わりに全てメモリ上のEWFボリュームに対して書き込みを行うことで、CFカード内のシステムデータを保護します。



このEWFボリュームへの書き込みは、アプリケーションなどからはCFカード上のシステムデータに書き込みを行ったのと全く同じように見えていますが、実際には書き込まれたデータはメモリ上に記憶されるため、通常の方法でネットワークなどの設定変更を行った場合、本パソコンを再起動すると初期状態に戻ってしまいます。

本パソコンでは、ネットワークの設定などの初期状態を変更したい場合は、「保護管理ツール」を使用してこのEWFシステムを一時的に無効にすることにより、CFカード内のシステムデータに直接書き込むことができます。

「保護管理ツール」については「保護管理ツールについて」（→P.16）をご覧ください。

POINT

- 電源を切らずにスタンバイ状態にした場合は、EWFボリュームへの記録内容は保持されます。ただし、スタンバイ状態のまま電源が切れた場合は、EWFボリュームの内容は消去されますのでご注意ください。

2 OSについて

Windows XP Embedded with Service Pack 2について

本パソコンに搭載されているオペレーティングシステムは、Windows XP Embedded with Service Pack 2です。

Windows XP Embedded は Windows XP Professional と同様の操作性をもっていますが、コンポーネント化されたバージョンであるため、目的に合わせて最適な機能のみを実装することができる OS です。本製品では、シンクライアントとしての運用性、安全性のために、必要な機能のみに限定しております。

ご使用にあたっては、富士通パソコン情報サイト「FMWORLD.NET」(http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) の「お使いになる上での注意事項」をご覧ください。

管理者権限とユーザー アカウント

本パソコンのご購入時の設定では、Administrator (コンピュータの管理者) アカウントのみが作成されています。Administrator のパスワードは設定されておりませんので、最初にこのパスワードの設定を行ってください。

その後、必要に応じて新しいアカウントを作成してください。

アカウントの作成方法は次のとおりです。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」をクリックし、「新しいアカウントを作成する」をクリックして、新しいアカウントを作成します。

POINT

- ▶ ユーザー アカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」が用意されています。ご使用になる際には、本パソコンを管理される方用に「コンピュータの管理者」、通常業務でお使いになる方用に「制限付きアカウント」をお使いになることをお勧めします。

重要

- ▶ 本パソコンは、ご購入時はCFカードへの書き込みができないように設定されています。Administratorへのパスワードの設定、ユーザー アカウントの追加はご購入時の状態でも行うことができますが、再起動を行うとそれらの設定は消去されて元に戻ってしまいます。再起動を行っても設定が保存されるようにするには、「保護管理ツール」を使用して EWF システムを一時的に無効にする必要があります。

「保護管理ツール」については「保護管理ツールについて」(→ P.16) をご覧ください。

Windows のパスワード

OS の起動時やリジューム時、スクリーンセーバーからの復帰時のパスワードを設定できます。複数のユーザーで 1 台のパソコンを使用する場合、使用するユーザーによってパスワードを変更できます。

パスワードの設定方法は次のとおりです。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」をクリックし、使用するユーザーのパスワードを設定します。

BIOS のパスワード

1

特長

パソコンの起動時やリジューム時のパスワードを設定できます。BIOS のパスワードには、管理者用のパスワードとユーザー用のパスワードがあり、ユーザー用パスワードではパソコンの起動／リジュームのみを行うことができます。管理者用のパスワードは本パソコンを管理される方のみが保管し、通常業務でお使いになる方にはユーザー用パスワードのみを通知されることをお勧めします。

詳しくは、『ハードウェアガイド』の「BIOS」-「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。

重要

- ▶ TC5100 では、起動時のパスワードのみ設定できます。

Internet Explorer

本パソコンには Internet Explorer が搭載されておりますが、MetaFrame の Web インターフェースでの使用を主な用途として想定しています。セキュリティの一元管理の観点からも、インターネットの閲覧には「リモートデスクトップ接続」もしくは、「MetaFrame クライアント」を使用し、サーバー側の Internet Explorer を使用することをお勧めします。

言語オプションの選択

本パソコンでは、日本語のみの対応となります。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で使用する言語に日本語以外を選択することが可能ですが、変更は行わないでください。

重要

- ▶ EWF システムが有効になっている状態では、設定後に再起動することによって元の状態に戻すことができますが、EWF システム無効（「保護解除」）の状態で変更してしまった場合、以後システムが動作しなくなるなどの不具合の原因となることがあります。管理者の方は十分にご注意ください。
- ▶ なお、誤って変更してしまいシステムが動作しなくなった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→『取扱説明書』）またはご購入元にご連絡ください。

Memo

第2章

動作環境の設定

本パソコンでの動作環境の設定について説明しています。

1 保護管理ツールについて	16
2 ディスプレイ関連	19
3 音量の設定	22
4 通信	23
5 省電力	25

1 保護管理ツールについて

「保護管理ツール」を使用して EWF システムの状態を一時的に無効にし、初期設定などの変更を CF カードに直接書き込む方法について説明しています。

☞ 重要

- ▶ 「保護管理ツール」は、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしている場合のみお使いいただけます。

■「保護管理ツール」の起動

「保護管理ツール」を起動するには、次のように操作します。

- 1 「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「保護管理ツール」の順にクリックします。
「保護管理ツール」 ウィンドウが表示されます。
- 3 「保護管理ツール」が起動されました。
「保護管理ツール」を終了するには、画面右上の「閉じる」ボタンをクリックします。

■「現在の状態：」を確認する

「保護管理ツール」を起動すると表示される「保護管理ツール」 ウィンドウの「現在の状態：」から EWF システムの状態を確認できます。

● 保護設定

EWF システムが有効で、CF カードへの書き込みが禁止された状態です。アプリケーションなどからの書き込みは、メモリ上の EWF ボリュームに書き込まれるため、再起動すると全ての設定が無効となります。

詳しくは、「CF カードへの書き込み保護について」(→P.11) をご覧ください。

POINT

- ▶ ご購入時は、「保護設定」状態に設定されています。

● 保護解除

EWF システムが無効で、CF カードの書き込みが可能な状態です。各種設定を変更する場合は、この状態に切り替えます。

初期設定などを変更する

EWFシステムを一時的に無効にし、初期設定などの変更をCFカード内のシステムデータに直接書き込むには、次のように操作します。

※ 重要

- ▶ EWFシステムを無効にし、初期設定などを変更した後は、必ず「保護設定」状態に戻し、EWFシステムを有効にしてください。

■「保護解除」ボタンを使用する

初期設定などを変更する場合、通常はこのボタンを使用します。

1 「保護管理ツール」を起動します。

「現在の状態：」が「保護設定」になっていることを確認します。

2 「保護解除」ボタンをクリックします。

画面の指示に従い操作します。

3 「保護管理ツール」を終了し、本パソコンを再起動します。

EWFシステムが解除されます。

4 「コンピュータの管理者」または、「制限付きアカウント」でログオンし、必要な設定を行います。

5 「保護管理ツール」を起動します。

「現在の状態：」が「保護解除」になっていることを確認します。

POINT

- ▶ 「制限付きアカウント」でログオンしている場合は、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンし直してください。

6 「保護設定」ボタンをクリックします。

画面の指示に従い操作します。

7 「保護管理ツール」を終了し、本パソコンを再起動します。

EWFシステムが有効になります。

8 手順4で行った設定がCFカードに書き込まれました。

設定が反映されていることを確認してください。

また「保護管理ツール」の「現在の状態：」が「保護設定」になっていることを確認してください。

■「反映」ボタンを使用する

「保護設定」状態中に、なんらかの設定を、保護解除をしなくても即座に反映させたいときに使用します。

☞ 重要

- ▶ 「反映」ボタンを使用すると、ボタンを押す前までの各種設定が全て CF カードに書き込まれます。意図していない設定が書き込まれないためにも、通常の変更には「保護解除」ボタンの使用による変更手順をお勧めします。

1 必要な設定を行います。

2 「保護管理ツール」を起動します。

「現在の状態：」が「保護設定」になっていることを確認します。

3 「反映」ボタンをクリックし、「はい」をクリックします。

4 「OK」をクリックした後、本パソコンを再起動します。

☞ 重要

- ▶ 再起動を行わないと CF カードへの書き込みは行われません。
「反映」ボタンを押した後、必ず本パソコンを再起動してください。

5 手順 4 で行った設定が CF カードに書き込まれました。

■ 操作を無効にする

「保護管理ツール」ウィンドウで「保護解除」／「保護設定」／「反映」ボタンを使用した後に「設定取消」ボタンを使用すると、その操作を無効にすることができます。

☞ 重要

- ▶ 「設定取消」ボタンでは、CF カードに書き込まれた変更内容を無効にすることはできません。
本機能は、本パソコンの設定をご購入時の状態に戻すものではありません。

2 ディスプレイ関連

ディスプレイの設定について説明しています。

解像度と色数について

本パソコンでは、Windows の「画面のプロパティ」 ウィンドウの「設定」 タブで次の解像度、色数を選択／変更できます。

POINT

- ▶ 解像度／色数を変更する場合は、必ず他のアプリケーションや常駐しているソフトウェアをすべて終了し、「保護管理ツール」でCFカードへの書き込み保護を解除してください(→P.16)。また、変更後は必ずWindowsを再起動し、「保護管理ツール」で「保護設定」に戻してください。再起動しない場合、本パソコンの動作が不安定になる場合があります。

■ TC5100 の場合

解像度（ピクセル）	色数
800 × 600	中 (16 ビット)
	最高 (32 ビット)
1024 × 768	中 (16 ビット)
	最高 (32 ビット)
1280 × 1024	中 (16 ビット)
	最高 (32 ビット)

POINT

- ▶ 色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。
- ▶ ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイのマニュアルをご覧ください。

■ TC8200 の場合

解像度 (ピクセル)	色数
	液晶ディスプレイ
800 × 600	
1024 × 768	
1280 × 1024 <small>注2注3</small>	中 (16 ビット) 最高 (32 ビット) <small>注1</small>
1400 × 1050 <small>注2注3</small>	
1600 × 1200 <small>注2注3</small>	

注 1: 液晶ディスプレイは擬似的に色を表示するディザリング機能を利用しています。

注 2: この解像度が表示されない場合は、「画面のプロパティ」ウィンドウの「設定」タブで「詳細設定」をクリックし、表示されたウィンドウの「モニタ」タブで「このモニタでは表示できないモードを隠す」のチェックを外してください。

注 3: 1280 × 1024 以上の解像度に設定した場合、仮想デスクトップになります。

仮想デスクトップでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。

液晶ディスプレイの明るさ設定 (TC8200 の場合)

液晶ディスプレイの明るさは、8段階に調節できます。暗くすると、消費電力が小さくなります。

■ 明るさを変更する

キーボードを使用して、液晶ディスプレイの明るさを調節することができます。

【Fn】 + 【F6】キーを押すと暗く、【Fn】 + 【F7】キーを押すと明るくなります。

POINT

- ▶ 次のような場合は、キーボードで明るさを変えられないことがあります。しばらくしてから変更してください。
 - ・本パソコンを再起動した直後
 - ・スタンバイから復帰した直後
 - ・AC アダプタを取り付け、取り外した直後

全画面表示と通常表示の切り替え (TC8200 の場合)

液晶ディスプレイを標準または規定の解像度よりも低い解像度に設定したときに、画面をディスプレイ中央に小さく表示するか、全画面表示するかを選択することができます。

■ 留意事項

- 解像度を 800 × 600 以下に設定した場合に変更することができます。
- BIOS セットアップ時など Windows が起動していない場合は、全画面表示のみ可能ですが。通常表示に変更することはできません。

■ 全画面表示と通常表示を切り替える

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「Intel(R) Extreme Graphics 2 M」をダブルクリックします。
「Intel(R) 82852/82855 GM/GME Graphics Controller のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デバイス」タブをクリックし、「全画面表示（枠なし）」のチェックボックスを変更します。
チェックが入っていると全画面表示になり、チェックが入っていないと通常表示になります。
- 4 「適用」をクリックします。

POINT

- ▶ 「デスクトップ変更の確認」ウィンドウが表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

- 5 「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。

POINT

- ▶ 表示を切り替えるには、【Fn】+【F5】キーを押します。

3 音量の設定

音量を調節する方法について説明しています。

画面上の音量つまみで設定する

1 通知領域の「音量」アイコンをクリックします。

音量を調節する画面が表示されます。

2 音量つまみを上下にドラッグして、適当な音量に調節します。

「ミュート」をチェックすると音が消え、通知領域の表示も変わります。

 **POINT**

▶ TC8200をお使いの場合、音量つまみを表示しているときにキーボードで音量を調節すると、音量つまみも動きます。

3 デスクトップの何もないところをクリックします。

音量を調節する画面が消えます。

消えなかった場合は、いったん音量つまみをクリックしてから、デスクトップの何もないところをクリックしてください。

キーボードで調節する (TC8200の場合)

キーボードで音量を調節するには、【Fn】+【F8】キーまたは【F9】キーを押します。

【Fn】+【F8】キーを押すと音量が小さく、【Fn】+【F9】キーを押すと音量が大きくなります。

キーボードでの音量の調節は、25段階に設定できます。

 **POINT**

▶ 【Fn】+【F9】キーで音量を大きくしても音が聞こえない場合、スピーカーがミュートに設定されている可能性があります。【Fn】+【F3】キーを押してスピーカーの ON/OFF を切り替えてください。ON/OFF を切り替えると、通知領域の表示も変わります。また音量を調節する画面でも調節できます(→P.22)。

4 通信

LAN など、通信関連について説明しています。

POINT

- ▶ ネットワーク設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

LAN について

■ LAN を接続する

本パソコンには、下記に対応した LAN が内蔵されています。

- 10BASE-T (IEEE 802.3 準拠)
- 100BASE-TX (IEEE 802.3u 準拠)
- 1000BASE-T (IEEE 802.3ab 準拠) (TC8200 のみ)

⚠ 警告



- 雷が鳴り出したら、すぐに AC アダプタやケーブル類を取り外し、雷が止むまで取り付けないでください。
感電・火災の原因となります。またパソコンが故障するおそれがあります。



- 近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、LAN ケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



- LAN コネクタに指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。
- LAN ケーブルを接続する場合は、必ず LAN コネクタに接続してください。
故障の原因となることがあります。

1 次の操作を行います。

- ・ TC5100 をお使いの場合
パソコン本体の電源を切ります (→ 『取扱説明書』)。
- ・ TC8200 をお使いの場合
パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します (→ 『取扱説明書』)。

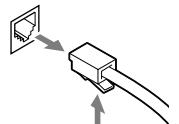
2 パソコン本体の LAN コネクタ (→ 『ハードウェアガイド』の「各部名称」 - 「各部の名称と働き」) とネットワークを、LAN ケーブルで接続します。

重要

- ▶ ネットワークをお使いになるときは、省電力機能が働かないように設定を変更してください（→ P.25）。
省電力機能が働いてしまうと、ネットワークへのアクセスができなくなることがあります。また、お使いになるアプリケーションによっては、不具合が発生する場合があります。
- ▶ TC8200 でネットワークに接続する場合は、AC アダプタを接続した上でのご使用をお勧めします。

POINT

- ▶ LAN コネクタからプラグを取り外すときは、ツメを押さえながら引き抜いてください。ツメを押さえずに無理に引き抜くと破損の原因となります。



コネクタの向きは機種
により異なります。

5 省電力

省電力について説明しています。

ご購入時には、一定時間パソコン本体を操作しないと自動的にディスプレイの表示を消したり、スタンバイするよう設定されています。

スタンバイ

スタンバイを使用すると、Windows を終了しないで節電できます。

■ TC5100 の場合

実行中のプログラムやデータを、システム RAM (メモリ) に保持してパソコンの動作を中断させます。スタンバイ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します (→『ハードウェアガイド』の「各部名称」 - 「パソコン本体前面」)。スタンバイ中は、わずかに電力を消費していて、電源は AC 電源から供給されます。

重要

- ▶ 本パソコンは、高度のスタンバイ (ACPI S3) にのみ対応しております。
BIOS セットアップの「Power Management Setup」で「S1 (POS)」への変更が選択できますが、変更しないでください (→『ハードウェアガイド』の「BIOS」 - 「BIOS セットアップの操作のしかた」)。

□ 留意事項

- パソコンをお使いの状況によっては、スタンバイ、レジュームに時間がかかる場合があります。
- スタンバイにした後は、すぐにレジュームしないでください。必ず、10 秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- 電源ボタンなどで本パソコンをスタンバイ状態に移行させても、まれにすぐにレジュームすることができます。その場合には、いったんマウスを動かしてから、再びスタンバイ状態に移行させてください。
- 接続している周辺機器が正しく認識されていない場合、スタンバイにならないことがあります。
- スタンバイ時またはレジューム時に、一時的に画面が乱れる場合があります。
- 次の状態でスタンバイ状態に移行させると、スタンバイにならない、スタンバイからレジュームしない、レジューム後に正常に動作しない、データが消失するなどの問題が発生することがあります。
 - ・ OS の起動処理中または終了処理中
 - ・ パソコンが何か処理をしている最中、および処理完了直後
 - ・ ファイルアクセス中
 - ・ ネットワークの通信中
 - ・ サウンドや動画の再生中 (WAVE/AVI/MPEG) 形式のファイルの再生中
 - ・ マウスの操作中

- BIOS セットアップの省電力に関する設定は、一部を除いて無効となります。各設定の詳細は、『ハードウェアガイド』の「BIOS」－「メニュー詳細」をご覧ください。
- ネットワーク環境によっては、省電力機能を使用できない場合があります。
- ネットワーク環境で LAN 着信によるレジューム機能 (Wake up on LAN 機能) を使用すると、ホストコンピュータまたは他のコンピュータからのアクセスにより、スタンバイ状態のコンピュータがレジュームする可能性があります。次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。なお設定値が 20 分より短いと、本パソコンがレジュームしてしまうことがあります。20 分以上の値に設定してください。
 1. 「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウを表示します (→ P.27)。
 2. 「電源設定」 タブの「システムスタンバイ」を「20 分後」以上に設定します。
- TCP/IP の設定で DHCP が有効の場合、スタンバイ状態移行時に DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスのリース期限が切れたとき、パソコン本体がレジュームすることがあります。
 この場合は、DHCP サーバーの IP アドレスのリース期間を延長するか、または DHCP の使用を中止し固定 IP をご使用ください。
- スタンバイへ移行させるときは、手動（電源ボタンを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」を選択する (→ P.29)、などの操作) ではなく次のように設定することをお勧めします。この設定を行うと、ファイルアクセス中や通信中などに省電力状態になってしまうことを回避できます。
 - ・「電源設定」 タブの「システムスタンバイ」で移行するまでの時間（例えば「30 分後」）を設定します。
- スタンバイ状態に移行する際、「デバイスのドライバが原因でスタンバイ状態に入れません。アプリケーションをすべて閉じてから、もう一度やり直してください。問題が解決しない場合は、そのドライバを更新することをお勧めします。」の警告ウィンドウが表示されて、スタンバイ状態に移行できない場合があります。これは、プログラムが動作中でスタンバイ状態に移行できない状態を示します。スタンバイ状態に移行させるためには、動作中のプログラムを終了してください。
- ネットワーク環境下で省電力機能を使用する場合、次の条件下では、使用するプロトコルやアプリケーションによっては、不具合（スタンバイからの復帰時に正常に通信できないなど）が発生することがあります。
 - ・ネットワーク環境で通信中に、手動（電源ボタンを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」を選択する (→ P.29)、などの操作) によりスタンバイに移行した場合
- 「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウにある「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」の設定はネットワークに影響しません。

■ TC8200 の場合

メモリ内のプログラムやデータを、システム RAM (メモリ) に保持してパソコンの動作を中断させます。スタンバイ中は、状態表示 LCD の電源表示が点滅します (→ 『ハードウェアガイド』の「各部名称」－「状態表示 LCD について」)。スタンバイ中は、わずかに電力を消費していて、電源は、AC アダプタを接続している場合は AC 電源から、接続していない場合はバッテリから供給されます。

□ 留意事項

- パソコンをお使いの状況によっては、スタンバイ、レジュームに時間がかかる場合があります。

- スタンバイ状態にした後、すぐにレジュームしないでください。必ず、10秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- レジューム時に、画面に一瞬ノイズが発生する場合があります。
- 次の場合は、スタンバイにしないでください。
 - ・OSの起動処理中または終了処理中
 - ・パソコンが何か処理をしている最中、および処理完了直後
 - ・CFカードにアクセス中
 - ・ネットワークで通信中
- 周辺機器の取り付け／取り外しをする前に、パソコン本体の電源を切ってください。省電力に移行した状態では行わないでください。また、周辺機器によっては、パソコン本体の電源を切らなくても接続できるものもあります。
- 本パソコンは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）をサポートしていません。お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみサポートしている場合は、本パソコンをスタンバイ状態にしないでください。
- ネットワーク環境でLAN着信によるレジューム（Wakeup on LAN）を設定すると、ホストコンピュータまたは他のコンピュータからのアクセスにより、スタンバイ状態のコンピュータがレジュームする可能性があります。次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。
 1. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
 2. 「電源オプションのプロパティ」ウィンドウを表示します（→P.27）。
 3. 「電源設定」タブの「システムスタンバイ」を「20分後」以上に設定します。

POINT

- ▶ 設定値が20分より短いと、本パソコンがレジュームしてしまうことがあります。20分以上の値に設定してください。

- スタンバイ時にはシステムRAM（メモリ）でのデータ保持のために電力を消費します。バッテリ運用の場合は、バッテリ残量に留意してください。スタンバイ中にバッテリが切れると、作業中のデータがすべて失われてしまいます。長時間お使いにならない場合は、データを保存してからWindowsを終了させ、パソコン本体の電源を切ってください。
- バッテリを使っているときのスタンバイ可能な時間は、新品のバッテリを満充電した状態では、約1日です。

省電力の設定

■「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの表示

本パソコンの電源を管理することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「電源オプション」をダブルクリックします。
「電源オプションのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

■ TC5100 の設定を変更する

お使いの状況に合わせて、各タブで設定を変更し、「適用」をクリックしてください。

□「電源設定」タブ

本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、省電力機能が働くまでの時間を設定します。

スタンバイ状態に移行するまでの時間は「システムスタンバイ」で設定してください。

□「詳細設定」タブ

電源ボタンを押したときの、パソコン本体の動作状態を設定します（ご購入時には、電源を切るよう設定されています）。

次のように設定できます。

- 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」
：電源ボタンを押したときの状態を設定できます。
- 「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」
：スタンバイ状態からリジュームするときにパスワードの入力を求めるメッセージを表示させる設定を行います。

□「休止状態」タブ

本パソコンは休止状態に対応していないため、設定することはできません。

■ TC8200 の設定を変更する

お使いの状況に合わせて、各タブで設定を変更し、「適用」をクリックしてください。

◀ 重要

- ▶ ネットワークをお使いになるときは、次の設定を行い、省電力機能が働くないようにしてください。
省電力機能が働いてしまうと、ネットワークからアクセスできなくなることがあります。
「電源設定」タブの「システムスタンバイ」を「なし」にします。また、「詳細設定」タブの「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「何もしない」にします。

□「電源設定」タブ

本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、節電機能が働くまでの時間を設定できます。「電源設定」から「バッテリの最大利用」または「ポータブル／ラップトップ」を選択し、各項目を次のように変更してください。

「システムスタンバイ」：スタンバイするまでの時間を設定できます。

ご購入時は「バッテリの最大利用」になっています。ご購入時設定のままでのご使用をお勧めします。

□「アラーム」タブ

バッテリの残量が少なくなったときに Windows が出す警告に関する設定をします。

音で知らせる場合は、次のように設定します。

「アラームの動作」をクリックし、「通知方法」の「音で知らせる」にチェックを付けます。

POINT

- ▶ 「電源レベルが次に達したらバッテリ切れアラームで知らせる」のチェックを外すと、バッテリが切れた時点で予告なく電源が切断されます。作業中に電源が切断された場合、作成中のデータが失われたり、パソコン本体の動作が不安定になることがあります。

□「詳細設定」タブ

電源ボタンを押したときや液晶ディスプレイを閉じたときの、パソコン本体の動作状態を設定します（ご購入時は、スタンバイになるように設定されています）。

「電源ボタン」の各項目を次のように変更してください。

- 「ポータブルコンピュータを閉じたとき」
：液晶ディスプレイを閉じたときの動作を設定できます。
- 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」
：電源ボタンを押したときの動作を設定できます。

POINT

- ▶ 「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定で移行したい状態に「何もしない」を選択した場合、本パソコンの動作中に液晶ディスプレイを閉じないでください。放熱が妨げられ、本パソコンが故障する原因となります。

□「休止状態」タブ

本パソコンは休止状態に対応していないため、設定することはできません。

スタンバイ状態にする

各項目での動作は「電源オプションのプロパティ」ウィンドウでの設定によります。スタンバイ状態にするには、次の方法があります。

■ シャットダウンメニューを使う

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
- 2 スタンバイを選択します。
しばらくするとスタンバイ状態になります。

■ 電源ボタンを使う

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウでの設定により、電源ボタンを押したときにスタンバイ状態になります（→「省電力の設定」（→P.27））。

POINT

- ▶ TC5100をお使いの場合、ご購入時には、電源ボタンを押すと電源を切るように設定されています。
電源ボタンを使用してスタンバイ状態にするには、「電源オプションのプロパティ」ウィンドウからスタンバイになるように設定を変更してください。
詳しくは、「省電力の設定」（→P.27）をご覧ください。

1 CF カードアクセスランプ(TC5100)または、状態表示 LCD の CF カードアクセス表示 (TC8200) が点灯していないことを確認します。

2 電源ボタンを押します。

しばらくするとスタンバイ状態になります。

POINT

- ▶ 電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。電源ボタンを 4 秒以上押すと、スタンバイ状態にならざるに本パソコンの電源が切断されます。作業中に電源が切断された場合、作成中のデータが失われることがあります。

■ 液晶ディスプレイを閉じる (TC8200 の場合)

「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウでの設定により、スタンバイに移行します。

重要

- ▶ 液晶ディスプレイは静かに閉じてください。
- ▶ 閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

1 状態表示 LCD の CF カードアクセス表示が点灯していないことを確認し、液晶ディスプレイを閉じます。

しばらくするとスタンバイ状態になります。

POINT

- ▶ 「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の項目を「何もしない」に設定すると、液晶ディスプレイを閉じたときにスタンバイにしないように設定できます。ただし、「何もしない」に設定した場合は、液晶ディスプレイを閉じないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- ▶ 省電力状態になったことを示すビピッという音を確認してください（ボリュームを小さくしていると聞こえません）。スタンバイ状態にならないまま液晶ディスプレイを閉じていると、放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- ▶ 液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイ状態にならない場合、液晶ディスプレイを開いて電源ボタンを押し、スタンバイ状態になったことを確認してから液晶ディスプレイを閉じてください。
- ▶ アプリケーションの動作中には、液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイ状態にならない場合があります。アプリケーションの動作が止まった後で、液晶ディスプレイを閉じてください。

スタンバイ状態からのレジューム

レジュームには、次の方法があります。

POINT

- 電源ボタンを押す方法以外でスタンバイ状態からレジュームさせると、OSの仕様により画面が表示されない場合があります。
その場合は、キーボードかマウスから入力を行うと画面が表示されます。画面が表示されないままの状態で一定時間経過すると、本パソコンは再度スタンバイ状態に移行します。

■ 電源ボタンを使う

1 電源ボタンを押します。

しばらくすると、中断する前の画面が表示されます。

POINT

- 「電源オプションのプロパティ」ウィンドウ→「詳細設定」タブの「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」に設定した場合でも、スタンバイ状態で電源ボタンを押すとレジュームします。
- スタンバイ状態からレジュームする場合は、次の状態になっていることを確認してください。
 - TC5100 の場合
電源ランプがオレンジ色に点灯している
 - TC8200 の場合
状態表示 LCD の電源表示が点滅している

■ USB キーボード、USB マウスを使う (TC5100 の場合)

USB キーボードのキーを押したり、USB マウスを動かすことでレジュームできます。この機能を使用する場合は、次のように設定してください。

- 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「キーボード」もしくは「マウス」をダブルクリックします。
「キーボードまたは、マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 「ハードウェア」タブをクリックします。
- USB キーボードまたは USB マウスのプロパティの「電源の管理」タブで次の項目をチェックし、「OK」をクリックします。
 - このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする

■ 液晶ディスプレイを開く (TC8200 の場合)

液晶ディスプレイが閉じているときに液晶ディスプレイを開くとレジュームします。

■ LAN 着信によるレジューム (Wakeup on LAN)

他のコンピュータから本パソコンにコンピュータ検索が行われた場合などに、自動的にレジュームさせることができます。

なお、「LAN 着信によるレジューム」の設定をしているときは、スタンバイ中に液晶ディスプレイを閉じないでください。レジューム後に放熱が妨げられ、故障の原因となります。

ネットワーク環境下で Wakeup on LAN 機能を使用する場合は、次のように設定してください。

- 1** 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。
「ネットワーク接続」が表示されます。
- 3** 「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。
- 4** 「構成」ボタンをクリックします。
「Broadcom NetLink(TM) Gigabit Ethernet」または、「Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 5** 「電源の管理」タブをクリックします。
- 6** 次の 2 つの項目をチェックし、「OK」をクリックします。
 - ・電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする
 - ・このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする

第3章

ソフトウェア

本パソコンに搭載されているソフトウェアについて説明しています。

3

1 ソフトウェア一覧 34

1 ソフトウェア一覧

本パソコンには、次のソフトウェアが搭載されています。

搭載ソフト一覧

- 「Microsoft Windows XP Embedded with Service Pack 2」 (→ P.34)
- 「Internet Explorer 6.0 SP2」 (→ P.34)
- 「Microsoft IME スタンダード 2002」 (→ P.35)
- 「Windows Media Player」 (→ P.35)
- 「FMV 診断」 (→ P.35)
- 「MetaFrame クライアント」 (→ P.35)
- 「リモートデスクトップ接続」 (→ P.35)
- 「Systemwalker Desktop Patrol」 (→ P.35)
- 「SMARTACCESS PRO V2.0L40 (TC5100 のみ)」 (→ P.35)
- 「保護管理ツール」 (→ P.36)

各ソフトウェアの紹介

■ Microsoft Windows XP Embedded with Service Pack 2

Windows オペレーティングシステムのコンポーネント化されたバージョンです。

本パソコンは、Microsoft Windows XP Embedded with Service Pack 2 (SP2) をベースに開発しており、シンクライアント用に最適化しております。

詳しくは、「Windows XP Embedded with Service Pack 2 について」 (→ P.12) をご覧ください。

■ Internet Explorer 6.0 SP2

WWW (World Wide Web) ブラウザです。

POINT

- ▶ 本パソコンでは、MetaFrame の Web インターフェースでの使用を主な用途と想定しております。セキュリティの一元管理の観点からもインターネットの閲覧の場合には、「リモートデスクトップ接続」または、「MetaFrame クライアント」を使用してのサーバー側 Internet Explorer の使用をお勧めします。
- ▶ EWF システムが無効で CF カードへの書き込みが解除された状態では、Internet Explorer よりファイルをデスクトップ上に保存できます。
通常は、「保護管理ツール」において EWF システムを有効にし、CF カードへの書き込みができないよう「保護設定」状態にしてご使用ください。

■ Microsoft IME スタンダード 2002

日本語入力変換ユーティリティです。

POINT

- ▶ 次の機能はご使用になれません。
IME パッドの「手書き」、「音声入力」機能、システム辞書の「郵便番号辞書」、「単漢字辞書」、「話し言葉・顔文字辞書」、「カタカナ語英語辞書」、「記号辞書」、「文字コード辞書」。

■ Windows Media Player

マルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアです。

動画や音声の再生に使用できます。

■ FMV 診断

ハードウェアの故障箇所を診断します。

■ MetaFrame クライアント

MetaFrame サーバーに接続するアプリケーションです。

サーバー上でクライアント・アプリケーションを動作させ、本パソコン上には画面情報のみを転送し表示させます。そのため、本パソコンでは実データを持ちません。

「Program Neighborhood エージェント」を初めてお使いになる場合、起動時に「Program Neighborhood エージェントの設定の更新エラー」が表示されます。

通知領域のアイコンをダブルクリックし、サーバーの URL を入力してください。

■ リモートデスクトップ接続

ターミナルサーバー、または Windows XP Professional を実行しているほかのコンピュータに接続するアプリケーションです。

■ Systemwalker Desktop Patrol

Systemwalker Desktop Patrol（システムウォーカーデスクトップパトロール）は、パソコンのセキュリティ管理と資産管理を容易に実現するデスクトップ管理製品です。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「Systemwalker 資産管理 CT」の順にクリックして起動します。

POINT

- ▶ 本パソコンの本ソフトウェアには使用権はありません。
ご使用いただく場合は、別途使用権をご購入ください。

■ SMARTACCESS PRO V2.0L40 (TC5100 のみ)

FMV-KB332S（スマートカードリーダ／ライタ付 USB キーボード）を使用して、Windows ログオン認証など、スマートカードによるセキュリティ機能を提供します。

POINT

- ▶ Windows、Metaframe クライアント、リモートデスクトップ接続、Internet Explorer でのシングルサインオンをサポートしています。

■ 保護管理ツール

各種設定を CF カードに書き込むためのアプリケーションです。管理者権限でのみご使用になれます。

詳しくは、「保護管理ツールについて」(→ P.16) をご覧ください。

第4章

トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことが
あったときの対処方法について説明していま
す。

1	トラブルに備えて	38
2	トラブル発生時の基本操作	39
3	起動・終了時のトラブル	41
4	OS・アプリケーション関連のトラブル	44
5	ハードウェア関連のトラブル	45
6	それでも解決できないときは	52

1 トラブルに備えて

ここでは、トラブルを未然に防ぐために注意すべき点や、もしものときに備えて事前に準備すべき点について、説明します。

テレビ／ラジオなどの受信障害防止について

本パソコンは、テレビやラジオなどの受信障害を防止するVCCIの基準に適合しています。しかし、設置場所によっては、本パソコンの近くにあるラジオやテレビなどに受信障害を与える場合があります。このような現象が生じても、本パソコンの故障ではありません。

テレビやラジオなどの受信障害を防止するために、次のような点に注意してください。

■ 本パソコンの注意事項

- 本パソコンのAC電源または、ACアダプタは、テレビやラジオなどを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

■ テレビやラジオなどの注意事項

- テレビやラジオなどを、本パソコンから遠ざけて設置してください。
- テレビやラジオなどのアンテナの方向や位置を変更して、受信障害を生じない方向と位置を探してください。
- テレビやラジオなどのアンテナ線の配線ルートを、本パソコンから遠ざけてください。

本パソコンや周辺機器などが、テレビやラジオなどの受信に影響を与えているかどうかは、本パソコンや周辺機器など全体の電源を切ることで確認できます。

テレビやラジオなどに受信障害が生じている場合は、前述の項目を再点検してください。

それでも改善されない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

2 トラブル発生時の基本操作

ここでは、トラブル発生時にまず行うべき操作を説明します。

本パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まず本パソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？またゆるんだりしていませんか？
 - 電源コンセント自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
 - OA タップを使用している場合、OA タップ自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
 - 使用する装置の電源スイッチはすべて入っていますか？
ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（サーバー本体やハブなど）の接続や電源も確認してください。
 - キーボードの上に物を載せていませんか？
キーが押され、本パソコンが正常に動作しないことがあります。
- この他、「電源が入らない」（→ P.42）、「画面に何も表示されない」（→ P.42）もあわせてご覧ください。

Safe モード

本機能は、Windows XP Embedded では、ご使用になれません。

メッセージなどが表示されたらメモしておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルで該当する障害を検索する際や、お問い合わせの際に役立ちます。

診断プログラムを使用する

本パソコンでは、次のパソコン診断プログラムを用意しています。

FMV 診断でハードウェアの障害箇所を診断できます。

管理者権限を持ったアカウントで実行してください。

POINT

- ▶ 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- ▶ スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- ▶ ネットワーク機能の診断を行う場合は、あらかじめ固定 IP を設定しておいてください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「FMV 診断」 の順にクリックします。

この後はメッセージに従って操作します。

3 起動・終了時のトラブル

■ ビープ音が鳴った

電源を入れた後の自己診断（POST）時に、ビープ音が鳴る場合があります。ビープ音が鳴る原因と対処方法は、次のとおりです。

POINT

- ▶ ビープ音によるエラー通知は、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」のように、1回または連続したビープ音の組み合わせにより行われます。ここではビープ音の回数の組み合わせを、「1-2-2-3」のように表記しています。
- ▶ 下表の組み合わせ以外の鳴り方をした場合は、ハードウェアに重大な障害が発生している可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- ▶ ディスプレイカード上のROMでエラーが発生した場合やメモリテストエラーの場合は、画面が表示されません。

ビープ音の回数	原因と対処方法
1-2(1回目のビープ音は「ピーッ」と長めに鳴ります) (TC5100のみ)	<p>PCI デバイス上の ROM でエラーが発生しています。^{注1}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプションの PCI カードを取り付けている場合は、正しく取り付けてあるか確認してください。正しく取り付けてもビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。市販の PCI カードの場合は、製造元・販売元にご確認ください。 ・PCI カードを取り付けていないにもかかわらず、ビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
1-1-1-1	メモリのテストエラーです。
1-3-3-1	メモリが正しく取り付けられていないか、本パソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。
1-3-3-2	
1-3-4-1	メモリが正しく取り付けてあるか確認してください。正しく取り付けてもビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。市販のメモリを増設している場合は、製造元・販売元にご確認ください。
1-3-4-3	
1-4-1-1	

注1：本パソコンでは、拡張スロットはご使用になれません。

■ メッセージが表示された

電源を入れた後の自己診断（POST）時に、画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージ内容と意味については、『ハードウェアガイド』の「BIOS」－「BIOS が表示するメッセージ一覧」をご覧ください。

■ 電源が入らない

□ TC5100 の場合

- 電源ケーブルは接続されていますか？
接続を確認してください。
- 電源スイッチ付きの AC タップをお使いの場合、AC タップの電源は入っていますか？

□ TC8200 の場合

- AC アダプタは接続されていますか？
ご購入後最初にお使いになるときなど、バッテリが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。また、電源スイッチ付きの AC タップをお使いの場合は、AC タップの電源を ON にしてください。
- バッテリは充電されていますか？(バッテリ運用時)
状態表示 LCD でバッテリ残量を確認してください。バッテリが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してお使いください。
- 長期間未使用状態ではありませんでしたか？
長期間お使いにならなかった後でお使いになるときは、AC アダプタを接続してから電源を入れてください。

■ 画面に何も表示されない

□ TC5100 の場合

- パソコン本体の電源は入っていますか？
- ディスプレイに関して次の項目を確認してください。
 - ・ 電源スイッチは入っていますか？
 - ・ ディスプレイケーブルは、正しく接続されていますか？
 - ・ ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していませんか？
 - ・ ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットもしくはコンセントに接続されていますか？
 - ・ ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは、正しく調節されていますか？
- デジタルディスプレイを使用する場合、パソコン本体の電源を入れる前に、ディスプレイの電源を入れていますか？
- 省電力モードが設定されていませんか？
マウスを動かすか、どれかキーを押してください。
パソコン本体の電源ランプがオレンジ色になっている場合は、ACPI モードの高度 (ACPI S3) に移行している可能性があります。パソコン本体の電源ボタンを押してください。電源ボタンを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源ボタンを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。
- 電源ボタンを押す以外の方法で本パソコンをスタンバイモードからレジュームさせた場合、画面は表示されません (→ 「動作環境の設定」 - 「スタンバイ状態からのレジューム」 (→ P.31))。
マウスを動かすか、どれかキーを押してください。画面が表示されます。
- メモリなどの周辺機器は正しく取り付けられていますか？

□ TC8200 の場合

- 状態表示 LCD に電源表示が点灯していますか？
 - ・点灯している場合

【Fn】 + 【F6】 キー、または【Fn】 + 【F7】 キーを押して明るさを調節してください。
 - ・点滅または消灯している場合

電源ボタンを押して動作状態にしてください。また、バッテリ運用時は、バッテリが充電されているか確認してください。充電されていないときには、AC アダプタを接続して充電してください。

AC アダプタをお使いになっている場合は、コンセント、およびパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。
- 状態表示 LCD に何か表示されていますか？

状態表示 LCD に何も表示されていないときは電源が入っていません。パソコン本体の電源を入れてください。
- キーを操作していましたか？

本パソコンには省電力機能が設定されており、一定時間キーを押さないと CPU が停止したり、液晶ディスプレイのバックライトが消灯したりします（何かキーを押すとバックライトが点灯します）。頻繁に停止してしまうときは、「電源オプションのプロパティ」 Windows のドウで省電力の設定を変更してください。

■ マウス／ポインティングデバイスが使えないため、Windowsを終了できない

- キーボードを使って Windows を終了させることができます。
 1. 【Windows】 キーまたは【Ctrl】 + 【Esc】 キーを押します。

「スタート」メニューが表示されます。
 2. 【↑】【↓】 キーで終了メニューの選択、【Enter】 キーで決定を行うことで Windows の終了操作を行います。

マウスが故障している場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元に連絡してください。

■ Windows が動かなくなってしまい、電源が切れない

- 次の手順で Windows を強制終了させてください。
 1. 電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切れます。
 2. 10 秒以上待ってから電源を入れます。

POINT

- ▶ 強制終了した場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。

4 OS・アプリケーション関連のトラブル

ここでは、OS、アプリケーションに関するトラブルを説明します。トラブルに合わせてご覧ください。

■ 省電力機能が実行されない

- 「コントロールパネル」や BIOS の設定を確認してください。
省電力機能の詳細については、「動作環境の設定」－「省電力」（→ P.25）をご覧ください。

■ コマンドプロンプトを全画面表示にすると画面が乱れる

- コマンドプロンプトでは、全画面表示はお使いになれません。
【Alt】+【Enter】を押して、ウィンドウ表示に切り替えてください。

■ ログオン時に Windows 起動音が再生されるのが遅い

- DHCP より IP アドレスが取得されていない可能性があります。
ネットワーク環境をご確認ください。

■ 以下のメッセージが表示される

- 管理者権限を持ったユーザーがスタートアップに「Program Neighborhood エージェント」を登録していないにもかかわらず、システム起動時に「Program Neighborhood エージェントが設定情報を更新できません。Web Interface サーバーが使用できないか、または URL が間違っている可能性があります。あるいは、設定ファイルの内容にエラーがあるか、または保存場所が正しくない可能性があります。」と表示される。
- 保護管理ツール起動時に、「関数 EwfMgrGetProtectedVolumeConfig でエラー（00000001）が発生しました。」

初めて電源を入れ、システムが初期設定を行っている時に、電源を切ったりしませんでしたか？誤って初期設定中に電源を切ってしまった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」（→『取扱説明書』）またはご購入元にご連絡ください。

5 ハードウェア関連のトラブル

ここでは、ハードウェアに関連するトラブルを説明します。

どのハードウェアに関連するトラブルかわからない場合は、まず「ハードウェア関連のトラブル一覧」(→ P.45)をご覧ください。

インターフェースの制限について

本パソコンでは、次のインターフェースはお使いになられません。お使いになった場合の動作は保証いたしかねます。

□ TC5100 の場合

- シリアルコネクタ
- パラレルコネクタ
- マイク端子
- ラインイン端子
- 拡張カードスロット

□ TC8200 の場合

- シリアルコネクタ
- パラレルコネクタ
- 外部ディスプレイコネクタ
- マイク端子
- PC カードスロット
- 赤外線通信ポート

ハードウェア関連のトラブル一覧

- BIOS の「管理者用パスワードを忘れてしまった」(→ P.46)
- パソコン本体起動時に「エラーメッセージが表示された」(→ P.46)
- 「ネットワークに接続できない」(→ P.46)
- 「ネットワーククリソースに接続できない」(→ P.47)
- 「1000BASE-T を使用しているが、速度が遅い (TC8200 の場合)」(→ P.47)
- 「バッテリ残量表示の点滅が止まらない」(TC8200 の場合) (→ P.47)
- 「バッテリが充電されない」(TC8200 の場合) (→ P.47)
- 「画面に何も表示されない」(→ P.48)
- 「ディスプレイの表示が見にくい」(→ P.48)
- 「液晶ディスプレイが閉まらない (TC8200 の場合)」(→ P.48)
- 「表示が乱れる」(→ P.48)
- 「画面の両サイドが欠ける (TC5100 の場合)」(→ P.49)
- 「スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」(→ P.49)
- 「マイクからうまく録音ができない」(→ P.49)

- 「押したキーと違う文字が入力される」 (→ P.50)
- 「マウスカーソルが動かない」 (→ P.50)
- 「マウスカーソルが正しく動作しない (USB マウス (光学式) の場合)」 (→ P.50)
- 「マウス／ポインティングデバイスが使えないため、Windows を終了できない」 (→ P.50)
- 「USB デバイスが使えない」 (→ P.51)
- 「プリンタを使用できない」 (→ P.51)
- 「言語オプション選択で日本語以外を選択した後、起動しなくなった」 (→ P.51)
- 「使用中の製品に関する最新情報を知りたい」 (→ P.51)

BIOS

■ 管理者用パスワードを忘れてしまった

管理者用パスワードを忘れると、BIOS セットアップを管理者権限で起動することができなくなり、項目の変更やパスワード解除ができなくなります。この場合は、修理が必要となりますので「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。なお、保証期間にかかるわらず修理は有償となります。

■ エラーメッセージが表示された

パソコン本体起動時に、画面にエラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージの内容と意味については、『ハードウェアガイド』の「BIOS」－「BIOS が表示するメッセージ一覧」をご覧ください。

内蔵 LAN

■ ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
パソコン本体との接続、ハブとの接続を確認してください。
- ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
 - ・1000Mbps で通信している場合、エンハンスドカテゴリ 5 のケーブルを使用してください (TC8200 の場合)。
 - ・100Mbps で通信している場合、カテゴリ 5 のケーブルを使用してください。
- 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」→「CMD」で次のように入力し、「Reply from ~」という応答が表示されるか確認してください。

`ping nnn.nnn.nnn.nnn`

(nnn には通信相手の IP アドレスを入力します)

- ハブに関して、次の項目を確認してください。
 - ・電源は入っていますか？
 - ・ACT/LNK ランプは点灯していますか？
 - ・Speed (1000Mbps/100Mbps/10Mbps/Auto) 、Duplex (Full/Half/Auto) の設定は、パソコン側の設定と合っていますか？
- 通知領域に LAN の接続状況が表示されますので、確認してください。

- スタンバイ状態にしませんでしたか？
LAN 機能を使ってネットワークに接続中は、スタンバイ状態にしないことをお勧めします。お使いの環境によっては、ネットワークへの接続が正常に行われない場合があります。
- ネットワークケーブルおよび AC アダプタを接続していない状態で起動しませんでしたか？
ご購入時の設定では、ネットワークケーブルおよび AC アダプタを接続していない状態で起動すると、LAN 機能は使えません。いったん電源を切り、ネットワークケーブルを接続してから起動してください。
- バッテリ運用時に電源を入れたとき、再起動したとき、ネットワークケーブルが接続されていますか？
ご購入時の設定では、バッテリ運用時に電源を入れたとき、再起動したとき、ネットワークケーブルが接続されているかどうかを確認します。
このときネットワークケーブルが接続されていないと、省電力のため内蔵 LAN が使用不能になります。
内蔵 LAN を使用する場合は、ネットワークケーブルまたは AC アダプタを接続した状態で電源を入れるか、パソコンを再起動してください。

■ ネットワークリソースに接続できない

各種サーバーに接続できない場合は、ネットワーク管理者に原因を確認してください。一般的に、次の点を確認します。

- 各コンポーネントの設定は、正しいですか？
- サーバーにアクセスするためのユーザー名やパスワードは正しいですか？
- サーバーにアクセスする権限を与えられていますか？
- サーバーがなんらかの理由で停止していませんか？

■ 1000BASE-T を使用しているが、速度が遅い (TC8200 の場合)

- LAN デバイスで速度は正しく設定されていますか？
- お使いのネットワークケーブルやハブは 1000BASE-T に対応していますか？
- 通信相手の機器は 1000BASE-T に対応していますか？

バッテリ (TC8200 の場合)

4

トラブル
シューティング

■ バッテリ残量表示の点滅が止まらない

- バッテリは正しく取り付けられていますか？
バッテリが正しく取り付けられているか確認してください。正しい場合は、バッテリが異常です。新しいバッテリと交換してください。
- LOW バッテリ状態ではありませんか？
AC アダプタを取り付けてバッテリを充電してください。

■ バッテリが充電されない

- AC アダプタは接続されていますか？
AC アダプタを接続している場合は、コンセントおよびパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。

- バッテリが熱くなっていますか?
状態表示LCDのバッテリ充電表示が点滅します。
周囲の温度が高いときや使用中にバッテリの温度が上昇すると、バッテリの保護機能が働いて、充電を止めることができます。
- パソコン本体が冷えていませんか?
状態表示LCDのバッテリ充電表示が点滅します。
バッテリの温度が5°C以下になっていると、バッテリの保護機能が働いて、充電を止めることができます。
- 充電を途中で中断させていますか?
充電を始めてから、状態表示LCDのバッテリ充電表示が消灯するまでの間に本パソコンを使用したり、ACアダプタを取り外したりすると、バッテリの特性により充電が不完全に終わることがあります。この場合は、本パソコンをしばらくの間バッテリで稼働させ、バッテリ残量が89%以下になってから充電してください。また、いったん充電を開始したら、状態表示LCDのバッテリ充電表示が消灯するまでACアダプタを接続したまま充電を終わらせてください。

ディスプレイ

■ 画面に何も表示されない

- 「電源が入らない」(→P.42)、「画面に何も表示されない」(→P.42)をご覧ください。

■ ディスプレイの表示が見にくい

- ディスプレイは見やすい角度になっていますか?
ディスプレイの角度を調節してください。
- 明るさなどを調節しましたか?
 - TC5100をお使いの場合
明るさをライトネスボリュームで調節してください。
 - TC8200をお使いの場合
【Fn】+【F6】キー、または【Fn】+【F7】キーを押して調節してください。

■ 液晶ディスプレイが閉まらない (TC8200の場合)

- 間に物がはさまっていませんか?
無理に閉めようすると液晶ディスプレイに傷をつけることがあります。物がはさまっていないか確認してください。また、クリップなどの金属製品がキーのすき間などに入ると、故障の原因になります。

■ 表示が乱れる

- アプリケーションを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、次の手順でウィンドウを再表示してください。
 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
 2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックします。

POINT

▶ Windows 起動時および画面の切り替え時に表示が乱れることがあります。動作上は問題ありません。

- 近くにテレビなどの強い磁界が発生するものがありますか？
強い磁界が発生するものは、ディスプレイやパソコン本体から離して置いてください(→ P.38)。

■ 画面の両サイドが欠ける (TC5100 の場合)

- 使用しているディスプレイの調整ボタンで、水平画面サイズを調整してください。

サウンド

■ スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

□ TC5100 をお使いの場合

- 外付けスピーカーに関して次の項目を確認してください。
 - ・パソコン本体と正しく接続されていますか？
 - ・スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・スピーカーの電源ボタンは入っていますか？
 - ・音量ボリュームは正しく調節されていますか？
 - ・ヘッドホン端子にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
- OS の「音量の調整」または「ボリュームコントロール」などの設定（ミュートや音量など）を確認してください。
- 音が割れる場合は音量を小さくしてください。

□ TC8200 をお使いの場合

- 内蔵スピーカーに関して、次の項目を確認してください。
 - ・スピーカーの出力は ON になっていますか？
【Fn】+【F3】キーを押して、スピーカーの出力を確認してください。
 - ・音量は正しく調節されていますか？
【Fn】+【F8】キー、または【Fn】+【F9】キーを押して、適正な音量にしてください。
- 音量を設定するウィンドウで、ミュートや音量などを確認してください (→ 「動作環境の設定」 - 「音量の設定」 (→ P.22))。
- 音が割れる場合は、音量を小さくしてください。
- ヘッドホン端子にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？

■ マイクからうまく録音ができない

- 本機能は、ご使用になれません。

キーボード

■ 押したキーと違う文字が入力される

- 【NumLk】キーや【CapsLock】キーが有効になっていませんか？
キーボードのインジケータまたは状態表示LCDで、NumLk表示やCapsLock表示が点灯していないか確認してください。
- 「コントロールパネル」の「キーボード」の設定は正しいですか？
次の手順で確認してください。
 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
 2. 「キーボード」をクリックします。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 3. 「ハードウェア」タブの「デバイス」で、正しい日本語キーボードが設定されているか確認します。

マウス／ポインティングデバイス

■ マウスカーソルが動かない

- マウスは正しく接続されていますか？
- ボールやローラーなどにゴミが付いていませんか？(USB マウスの場合)
マウス内部をクリーニングしてください。
- オプティカルセンサー部分が汚れていませんか？(USB マウス (光学式) の場合)
オプティカルセンサー部分をクリーニングしてください。

■ マウスカーソルが正しく動作しない (USB マウス (光学式) の場合)

- 次のようなものの上で操作していませんか？
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの(木目調など)
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
- マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。

■ マウス／ポインティングデバイスが使えないため、Windows を終了できない

- キーボードを使用して Windows を終了してください (→ P.43)。

USB

■ USB デバイスが使えない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- USB デバイスがハブ以外に接続されていませんか？
USB デバイスは本体に直接接続してください。
- USB デバイスに不具合はありませんか？
USB デバイスに不具合がある場合、Windows が動かなくなります。
パソコンを再起動して、USB デバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USB デバイスのご購入元にご連絡ください。

プリンタ

■ プリンタを使用できない

- 本機能は、ご使用になれません。

その他

■ 言語オプション選択で日本語以外を選択した後、起動しなくなった

- 本パソコンでは、日本語のみの対応となります。
詳しくは、「言語オプションの選択」(→ P.13) をご覧ください。
言語オプション変更後に、本パソコンが起動しなくなった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ 『取扱説明書』) またはご購入元にご連絡ください。

■ 使用中の製品に関する最新情報を知りたい

- 製品出荷後に判明した問題などの最新情報は、弊社の富士通パソコン情報サイト「FMWORLD.NET」(http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) で公開しています。
必要に応じてご覧ください。

6 それでも解決できないときは

本パソコンについてどうしても解決できない場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

尚、サーバー／ネットワークに関しては、担当営業または、ご購入元にお問い合わせください。

お問い合わせ先

■ 弊社へのお問い合わせ

故障かなと思われたときや、技術的なご質問・ご相談などについては、『取扱説明書』をご覧になり、弊社までお問い合わせください。

索引

F

FMV 診断 35, 40

I

Internet Explorer 6.0 SP2 34

L

LAN 23

LAN 着信によるレジューム 32

M

MetaFrame クライアント 35

Microsoft IME スタンダード 2002 35

Microsoft Windows XP Embedded with
Service Pack 2 34

S

Safe モード 39

SMARTACCESS PRO V2.0L40 35

Systemwalker Desktop Patrol 35

W

Wakeup on LAN 32

Windows Media Player 35

あ行

色数 19

か行

解像度 19

さ行

省電力 25

スタンバイ 25

全画面表示と通常表示の切り替え 20

た行

ディスプレイの明るさ設定 20

は行

保護管理ツール 36

ら行

リモートデスクトップ接続 35

FMV-TC5100/FMV-TC8200

ソフトウェアガイド
BFH-6521-01-00

発行日 2005年5月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。